

第3回 総会

会長に海部幸世前総理夫人 顧問に服部純先生

新体制でバンクの前進誓う

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒111-91
東京都浅草郵便局内
私書箱119号
TEL 03-3625-7307
発行責任者
運営委員長 宮戸征美

郵便振替口座
東京 5-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

五月三十一日 江東区勤労福祉会館で全国協議会の第3回通常総会が開かれました。公的バンク発足後、新たな運動展開が求められた本年度の総会では、規約の改正や公的バンク支援のための活動方針を満場一致決定し、新たに海部会長、服部顧問の選任を行いました。(関連記事二面)

総会は、加盟一七団体中一三団体の出席、委任三団体で開かれました。議長に福島陽田秀夫氏を選出。宮戸征美運営委員長のあいさつあと、山崎裕一事務局長、秋山良実財務担当、吉ヶ江治道監事からそれぞれ提案・報告され、一部修正を

含め全会一致承認されました。つづいて、宮戸運営委員長より会長、顧問の選任に向けてのこれまでの経過を含めての提案、副会長の選任について運営委員会への一任の提案、新運営委員提案がそれぞれ行われ、拍手で承認されました。



都道府県別 登録者数 (5月末現在)

都道府県	登録者数
北海道	487
(小計)	487
東北	25
青森	70
岩手	24
宮城	157
山形	30
福島	84
(小計)	390
関東	87
茨城	86
群馬	103
埼玉	188
千葉	179
東京	1,531
神奈川	465
(小計)	2,639
中部	165
新潟	34
石川	49
福井	25
山梨	25
長野	92
岐阜	43
静岡	156
愛知	188
(小計)	777
近畿	53
三重	73
京都	194
大阪	345
兵庫	175
奈良	57
和歌山	20
(小計)	917
中国	15
鳥取	15
島根	29
岡山	178
広島	300
(小計)	602
四国	10
徳島	14
香取	30
愛媛	26
高知	26
(小計)	80
九州	228
福岡	12
佐賀	62
長門	21
熊本	16
大分	13
宮崎	37
鹿児島	8
(小計)	397
合計	6,289

就任あいさつ



海部会長

「骨髄移植で血液難病を救済する」という大目的のために立ち上げられたボランティアグループなのですから、お互いに忍び合って不協和音を出さず、対外的には政治的な圧力団体と間違えられないような言動は差控え、一致団結して公的バンクの短期育成に努めて頂き、本年度末には公的バンクの手で数例の骨髄移植が実施されるよう祈っております。

「昨年、ヒューストンサミットに主人と共に参加した際、バーバラ・ブッシュ大統領夫人とお会いし、夫人が骨髄移植の普及に尽くしている話を伺い、関心をもっていました。その後、大谷貴子さんからいただいた「霧の中の生命」という貴重な貴子さんの体験を堂々と記された本を読み感動しました。私の周辺の人々にも「読んでみて。」と渡すと誰もが同じ気持ちになりました。



服部顧問

このたび、全国協議会の顧問を委嘱され、責任の重さを痛感しております。皆様は、

92年度役員 (敬称略)

事務局長	陽田秀夫
運営委員	秋山良実
監事	笠原慶一
"	金子和子
"	円東克典
"	野村正満
"	渡辺孝一
"	和田昭人
"	宮治世之紀
"	吉ヶ江治道
"	藤岡八重子

患者登録が六月二十二日から開始に

財団は、二三日から医師を通しての患者登録を開始することを発表。移植の第一号は9月頃の見込みです。

ライオンズクラブ主催シンポジウム

全国協議会・東京の会が協力

ライオンズクラブ国際協会三三〇一A地区第四Rの主催する「骨髄バンク事業開始記念公開シンポジウム」が、五月二〇日東京・錦糸町のロッテ会館で開かれました。

主催者挨拶に立った山口桂造ガバナ―は、「時期を待た企画ができ大変喜ばしい。今後も骨髄バンク運動に協力を惜しまない。」と挨拶。

つづいて、別記のライオン

ズクラブを代表して、湯佐俊和RCから全国協議会の宮戸運営委員長に活動資金(人材育成・五百余万円)の目録の贈呈がありました。

来賓として、海部前総理夫人の海部幸世氏、財団理事長の小池欣一氏、厚生省の東井朝仁氏、全国協議会宮戸運営委員長が、それぞれお祝いの言葉を述べられました。

スライドを使つての基調講

演「骨髄提供とは」を千葉県こども病院の沖本由理先生がユーモアを交えてわかり易く話され、大谷貴子さんの司会で行われたパネルディスカッションも参加者に感動を与えたものとなりました。

公開シンポに先立ち、別記のライオンズクラブから、全国協議会に対し二五万円の活動資金の贈呈が行われました。

主催者挨拶の山口桂造ガバナ―



贈呈式



講演する沖本由理先生



ライオンズクラブ国際協会三三〇一A地区第四R

第1Z

- 東京隅田川L C
- 東京西国L C
- 東京本所L C
- 東京墨東L C
- 東京桜門L C
- 東京セントポールL C
- 東京セントクリスチアL C

第2Z

- 東京江東L C
- 東京江東南L C
- 東京深川L C
- 東京城東L C
- 東京江東中央L C

330-A地区ライオネスクラブ

- 東京福生L S C
- 東京江東中央L S C
- 東京大森L S C
- 東京芝浦L S C
- 東京アイL S C

「がんばります」



宮戸運営委員長



陽田事務局長

総会の討論概要

総会では、各提案・報告について活発な討論が行われました。

以下、討論の概要と修正された部分について報告します。

〈規約関係〉

◆第二条(目的)を公的バンク発足に伴い次のように改正。

「本会は、国の推進する骨髄バンク事業を支援するとともに、より良い骨髄バンクを求める活動を行うことを目的とする。」

◆第三条(事業)の中、公的バンクを求める内容を削除し、公的バンク事業への支援とその充実、事業の円滑な運営を求める活動、ドナーと患者の人権擁護、ボランティア休暇や休業補償、家事援助制度を求める活動、海外のグループとの交流などを挿入。

◆第二条(定員)の副会長一名を若干名に改正。

〈活動計画〉

◆新ポスター・テレホンカードは、刀根麻理子氏とケン・デリカット氏に依頼中。

◆先進国のバンク視察・交流については、アジア地域にも目を向けるべき、との意見が出され、その意見を含め今後検討することに。

◆ボランティア顕彰については、慎重に検討しようという意見があり、「顕彰制度の創設の検討」と修正されました。

財団・厚生省のうき

〈厚生省〉

厚生省は、ドナー希望者の登録や移植に関わる国家公務員の休暇について、特別休暇の扱いになるよう人事院に対し働きかける意向を固めました。

また、省内の職員に対し、積極的に骨髄バンクへの登録を促す啓蒙活動に取り組んでいます。

〈財団〉

財団は、第一回の普及広報委員会を六月二五日に開く予定です。会議では、今後の運営やポスター作成の件等が協議される見込み。

なお、全国協議会から、広報委員として、大谷・陽田・秋山の三氏が出席します。

〈財政〉

◆ライオンズ及びライオネスクラブからの寄付金五三一万五千円の内二五万円を東京の会に寄贈することを承認。

◆新規団体の会費免除の要望については、免除はできないが、経済的支援や講師派遣等の形で援助していく。

財団と意見交換

運営委員会後、財団の坂根事務局長と顧問の服部先生を交えて意見交流会が開かれました。

交流会の中では、財団の広報委員会の位置づけと今後の運営、六月中に行われる患者登録と移植の動向、提供者への旅費補償等について活発な意見交換がされました。

第1回ボランティアセミナー合宿
日時：8月8日(土)～9日(日)
会場：菅平高原 ペンション「スカディー」
主催：全国骨髄バンク推進連絡協議会

チャリティートークソングショー
「殿様キングス同窓会」
日時：8月9日(日)午後1時開演&午後5時開演
場所：安田生命ホール(JR新宿駅西口前)
お問い合わせ：「寺小屋企画」TEL03-3997-2472

第一回運営委員会

総会終了後、第一回運営委

☆☆☆☆

北海道

道警察機動隊で講演会

3月12日、道警本部の特別なるご協力により、機動隊（札幌）の職員社会教育として「骨髄移植と骨髄バンク」講演会が開催されました。

当日は、平均23・5歳の精強な隊員約二五〇名が参加し、ビデオ鑑賞、専門医師の講演、



登録から提供までの手続きについて約一時間、真剣にそして熱心に聴講下さいました。当日参加出来なかった警察官などにもパンフレットが配布され、3月末までになんと約一〇〇名がドナー検査登録されたとのこと。

やはり、市民を守る警察官は正義の味方なんです。

(山崎)

職場講演会で登録急増

2月4日旭川日赤病院、2月25日岩見沢労災病院での病院職員対象の講演会開催で、約八〇名がドナー登録しました。病院講演会が大きな効果をあげています。あなたの地域でも企画してはいかがですか。

(山崎)

福島

福島で設立総会云

五月二四日、「福島県骨髄バンク推進連絡協議会」(会長 太田緑子)が設立されました。

総会には来賓の他、百名以上一般市民の参加を得、会

則・役員・年度計画等を決定。全国協議会への加盟も決議。「いわき骨髄バンク推進連絡協議会」は新協議会のいわき支部として今まで通り活動を継続します。

新潟

行政と市民が一体

あつという間の三時間でした。もつと時間がほしかった。

行政と市民が一体となった「骨髄バンクを考えるシンポジウム」inn十日町。まさに人が人を動かした日でした。入場する人を始めから終わりまで入口に立って挨拶してくれた助役さん。行政が積極的に関わり市民も安心できるし、登録する人も安心感から登録してくれる。こんなシンポを進めていきたいと思っています。

(金子)



岐阜

岐阜で結成シンポ

「骨髄シンポジウム岐阜」を4月25日、岐阜医師会館にて開催。

岐阜大学医学部の山田医師による骨髄移植の方法の説明をはじめ、中堀由希子さんが熱き心の内を発言。つづいて、骨髄移植経験者及び提供経験者等を交え、「命のおくりも

の」と題したパネルディスカッションを行い、会場からも盛んに意見が出された。

同シンポ終了時に、同会場で世話人を募り、岐阜骨髄献血希望者を募る会の発足を、い、地域の各種ボランティアと連携を取りながら啓蒙活動を展開する。

(田中)



九州

初の海外骨髄液提供

日本で初の海外への骨髄液の輸送が5月21日、九州骨髄バンクにより行われた。熊本県に住む37歳の女性から採取された骨髄液が、ドイツに住む日系二世の再生不良性貧血の女性患者へ21時間かけて運ばれ、骨髄移植が実施され、二週間後に骨髄細胞の生着が確認された。血液バッグに入った骨髄液は、プラスティック製のクーラーに室温で保存

したまま熊本空港から羽田、成田・フランクフルト・デュッセルドルフ空港経由で輸送された。

九州骨髄バンク

理事長 服部詢一氏(談)「今回、日本の骨髄を初めて外国に提供して移植に成功し、やっと、世界骨髄バンクへの仲間入りを果たすことができ、大変嬉しく思います。」

いのちを救えるのはあなたかも知れない

骨髄バンクにご登録ください

京都府

京都府が作成したポスター(A2版)

シンポジウム

推進のために

演題 骨髄移植の国民的理解について

講師 ケント・デリカット氏

と云う程、会場の中は五〇〇人の熱気でむんむんでした。

東海

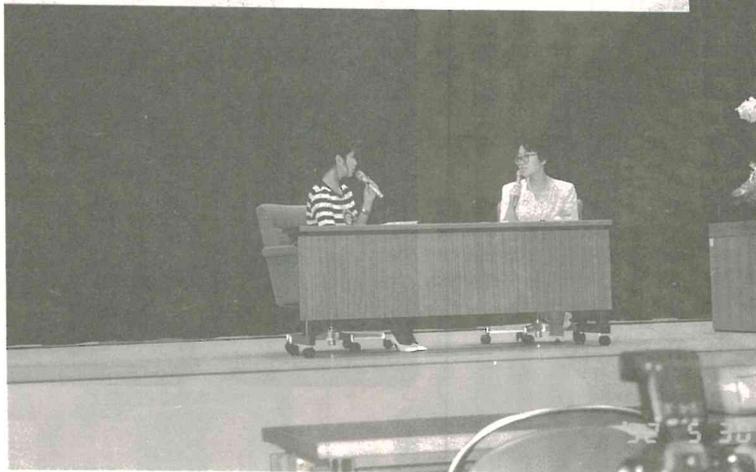
「二年半の歩み」シンポ

五月三〇日 東海骨髄バンクは「バンク二年半の歩み」と題してシンポジウムを開きました。

五月三〇日 東海骨髄バンクは「バンク二年半の歩み」と題してシンポジウムを開きました。わが国初のバンクとしてスタートした東海バンクは、苦しい患者さんにとって大きな光として貢献。この間、

骨髄バンクシンポジウム名古屋

主催：東海骨髄バンク 後援：財団法人骨髄移植推進財団、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、富山県、福井県、石川県



心からの寄付をありがとうございました

5月1日～6月12日まで	
阿原一良	5,000
京大医学部	3,421
早坂麻衣子 切手	2,108
匿名	200
シキモリヒロシ	2,000
募金箱より	1,563
阿原一良	5,000
中馬昌平	1,000,000
(順不同 敬称略)	

- ♡ 活動資金の援助をお願いします ♡
- ♡ 銀行口座 さくら銀行 ♡
- ♡ 新宿支店 普通 5666655 ♡
- ♡ 郵便振替口座 東京5-15754 ♡
- ♡ 全国骨髄バンク推進連絡協議会 ♡

骨髄移植完了が三七例、HLA採血済者数二九〇〇人、患者登録者総数一四〇〇人という数字が示すように、公的骨髄バンク実現への大きな役割を果たしました。

シンポジウムでは、二年半の歩みと、今後のバンク運動の発展に向け、参加者から熱い思いが語られました。

埼玉 読書感想文コンクールを準備

埼玉連絡会では未来のドナ

育成をめざして、昨年に引き続き、小・中・高校生を対象にした読書感想文コンクールの準備を進めています。小学低学年には「金色のくじら」「チャリィー・ブラウンなぜなんだらう」、高学年は「ママ、ごめんね」、中学生は「あつこの日記」、高校生は「霧の中の生命」が課題図書に。

県教育委員会や出版社、医療関係者の協力も得て、今年も沢山の応募が期待できそうです。

(笠原)

HLA検査を見学

六月六日、会員一三名が参加して、伊奈町にある血液センターを訪れ、HLA検査のしくみと実際について見学会を行いました。

センターの高橋さんから詳しい説明を受けた後、実際にやっているとところを見学。参加者は一様に、その大変さに驚くばかり。おいしいジュースをいただき、感謝を申し上げ、センターを後にしました。

(笠原)



学生 準備すすむ学生の会

学生の会の準備を少しずつですが始めています。現在は、多くの学生達と会い、これからの骨髄バンク運動について話し合っています。関東地区

をはじめ東海地区でも進めています。学生に限らず多くの若者の皆さんの協力が必要となってきました。

(上田)

神奈川

県に協議会を準備

神奈川県に骨髄移植推進協議会を設立すべく、その準備として県衛生部、横浜市衛生局、川崎市衛生局、横須賀市保健衛生部、日赤神奈川支部、医師(地区調整委員会委員)、ボランティアグループ(考える会)の出席で骨髄移植推進事業に係る打合せを五月一日(月)に横浜の自治会館で行った。席上、横浜市・川崎市・横須賀市はこの協議会

に入り県と歩調を合わせた活動に取り組むことを確認。協議会を構成するメンバー候補グループを決め、今後各々の同意を求めてゆくこととなった。発足は六月中旬を予定。(宮治)

平塚でシンポ

五月一日 ひらつかスカイプラザに約一四〇名の参加で公開シンポジウムが開かれました。



東京

新たな名称でスタート

「東京の会」は、三月二八日の総会で骨髄移植推進財団の発足に伴い名称を変更、「公的骨髄バンクを支援する東京の会」となりました。

同時に、会の代表者は、今までご苦労をいただいた福崎さんから、大谷さんの「霧の中の生命」の執筆に協力された脚本家の野村正清さんにバトンタッチしました。

又、六月一五日より、長い間居候させていただいた全国協議会から新宿区内に事務局を移すことになりました。

(千葉)

パネルディスカッションには県衛生部保健予防課長がパネラーとして出席し、県としての積極姿勢を示してくれました。

(宮治)

長野 ジャスコに図書コーナー



編集 後記

九州バンクが初の海外への骨髄液提供を行った。医療面での国際貢献は、誰もが賛辞を惜しまないと思う。

▼第3回の総会の中で、海外視察はアジアにも目を向けるべき、との意見が出され、出席者の共感を得た。今後の私たちの課題の一端が示されたように思った▼

さて、発行が遅れましたが皆さんから沢山のたよりを頂き、四頁にしました。今後心温まる記事、ユニークな記事をよろしく。(笠)